



学校だより

狛江で育ち狛江一中で学んだことを
生涯の誇りにできる生徒の育成
7月号 令和4年7月4日

狛江市立 狛江第一中学校

狛江市和泉本町 2-15-1
TEL 03 (3480) 0121

未見の我

校長 吉田 知弘

少し時間が経ってしまいましたが、6月4日(土)の体育祭には多くの保護者の皆様にご来校いただき、そして競技・係活動等に全力で取り組む生徒たちに温かなご声援をいただき本当にありがとうございました。今年度もコロナの影響により、ご来賓や地域の皆様をお招きすることはできませんでしたが、体育祭当日、多くの方々のご参観くださっている中でこれまで準備してきたことや練習成果等を存分に発揮できたことは、生徒たちにとってとてもやりがいのある、そして自分自身をさらに成長させられる素晴らしい場になったと思います。

体育祭当日に、受付・広報などでお手伝いいただきましたPTA役員・委員の皆様方にも改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて表題の「未見の我」とは、幕末の武士・思想家であり教育者でもあった吉田松陰が、自ら主宰した「松下村塾」で門下生に「未だ、見たことのなかった自分を目指しなさい。心は熱く、一生に一度くらい、本気でやってみなさい。必ず達成します。運命を造りなさい。」と語った言葉がもとになっており、のちに明治維新などで活躍する多くの門下生に対し、「未だ見ぬ自分(=未見の我)を目指して本気で努力・研鑽を積み重ねていくことで物事を成し遂げられる。」と説いた文と言われています。

もちろん体育祭は「一生に一度」のことではありませんし、「運命」と言うにはちょっと大げさすぎるかもしれません。しかし3年ぶりに学年種目も復活し、従来に近い形での開催となった今年度の体育祭。体育祭を実施できることに喜びを感じ、だからこそ多くの生徒が本番に向け、練習のときから本気度も高く、心熱く全力で努力していました。体育祭後にいくつかの生徒感想文を読む機会がありましたが、「本気で頑張ることが本当は一番楽しいことに気付けた。」「みんなが1つになることが成功につながることに気付けた。本当にこのクラスになれて良かった。」「仲間を応援し、応援されることで本当のクラスになれたと思う。」「みんなからの応援が自分の力になった。これからはみんながみんなを応援できるクラスをつくりたい。」といった一生懸命頑張ったからこそ気付けた自分の思いや気持ちを書いた生徒がたくさんいました。生徒たちは、吉田松陰が語ったような「未だ見ぬ自分を目指すために・・・」ではなく、「本気で努力したからこそ、未だ見ぬ自分や自分たちに気付けた」のかもしれませんが、しかし、この体育祭という成功体験を通して、生徒たちは自分たちの持っている新しい力に気づき、その持っている力の全力を出して頑張ることの素晴らしさを体得してくれたこと、さらに新しい目標ややりがいを見つけてくれたこと。こういった大きな成長を見せてくれたことをとても嬉しく、誇らしく思います。

1学期も残り2週間余りとなりました。この1学期間の自らの成長を自信に、そして今後も多くの「未見の我・素晴らしい自分」に出会えるよう、充実した7月・8月を過ごして欲しいと思います。コロナにも暑さにも負けず、それぞれの目標を目指して本気の夏を過ごしてくれることを期待しています。

体育祭

保健体育科 松尾 紗綾香

今年度は3年ぶりに学年種目を実施し、例年に近い形での開催となりました。生徒たちに学年種目を実施すると伝えたとき、生徒たちが喜んで表情を見て、とても嬉しく思いました。

前日準備は係生徒全員で行いました。その後、大雨が降り出し、残念ですが、ラインがすべて消えてしまいました。当日朝早くから教員が準備をし、予定通りに開会式をスタートすることができました。

練習期間も含めて2週間、生徒たちは本当に全力で頑張りました。ここで得たことを今後の生活に生かして行ってほしいと思います。

保護者の皆様、お忙しい中体育祭にお越しくださり、ありがとうございました。感染症対策や入場チケットなどにもご理解いただき、ご協力本当にありがとうございました。来年度も例年に近い形で開催できることを願っております。



セーフティ教室

生活指導主任 河埜 亮一

6月13日(月)にNTTドコモによる「スマホ・ケータイ安全教室」を行いました。近年、スマホは日常生活に欠かせないものになり、SNSのトラブルは誰にでも起こりうるものとなりました。もちろん、中学生にとっても身近な問題になっています。このセーフティ教室ではSNSなどの利用の仕方について、間違った利用をすることでどんな問題が起こるのかをワークシートを使いながら考え、学びました。様々な問題を他人事ではなく、自分事として考える良い機会になりました。

このセーフティ教室で学んだ、「被害者にならない」だけでなく、「加害者にもならない」ためのスマホの正しい使い方を、今後の生活に生かしてほしいと思います。



1組多摩特研球技大会出場

1組主任 佐藤 真人

6月24日(金)に郷土の森総合体育館(府中市)で、多摩地区特別支援教育研究会球技大会(バスケットボール)が3年ぶりに行われました。この大会は今回で50回目となる歴史ある大会です。この日に向け保健体育の授業でシュートやディフェンス、ゲームの練習を重ね、大会に臨みました。どのチームも勝利を目指して全力で取り組み、一生懸命ボールを追いかける生徒、シュートを決めてガッツポーズをして喜ぶ生徒もいました。勝ち負けの勝敗はつきましたが、チームで勝利へ向けて頑張る姿勢が素晴らしかったです。みんなで協力する大切さを感じとれた大会となりました。



第72回“社会を明るくする運動”中学生啓発標語表彰作品

狛江市推進委員会主催の「中学生による啓発標語」に、市内中学校4校から1,531作品の応募があり、その中から本校生徒5名の標語が優秀作品と入選作品に選出されました。

本作品は、7月13日(水)から29日(金)まで市役所2階ロビーに展示されます。

○優秀作品

「ネットでも 責任を持とう その言葉」 1年 重弘 采美

「あいさつで つなぐ心と 地域の輪」 3年 二ノ宮 董

○入選作品

「大丈夫 今のあなたの ままでいい」 2年 清水 萌伽

「知っている? ネットの危険 防ぎ方」 2年 糸井 茜音

「その誘い 引き受けちゃって 大丈夫?」 3年 松崎 佑久 (敬称略)